



平成27年2月18日

各 位

会 社 名 株式会社アダストリアホールディングス
代 表 者 代表取締役社長 遠藤 洋一
(コード番号 2685 東証第一部)
問 合 せ 先 経営戦略部長 新谷 亮
(TEL: 03-6895-6000)

特別損失等の計上及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、子会社における在庫処分を決定したこと等の要因により、以下のとおり、平成26年8月20日に公表しました平成27年2月通期連結業績予想を修正することとしましたので、お知らせいたします。

記

1. 平成27年2月期通期連結業績予想の修正について

<平成27年2月期通期連結業績予想数値(平成26年3月1日～平成27年2月28日)>

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 185,900	百万円 5,100	百万円 5,100	百万円 700	円銭 28.83
今回修正予想(B)	184,000	5,100	5,100	△800	△32.95
増減額(B-A)	△1,900	0	0	△1,500	
増減率(%)	△1.0	0	0	—	
(ご参考)前期実績 (平成26年2月期)	153,273	5,762	6,027	△4,731	△206.42

(参考) EBITDA

平成27年2月期通期(予想)

前回発表予想 14,600百万円 → 今回修正予想 14,600百万円

のれん償却前 EPS 平成27年2月期通期(予想)

前回発表予想 127.67円 → 今回修正予想 88.02円

2. 修正の理由

売上高につきましては、セール時期の販売不振により、前回発表予想を下回りました。

また、今般、通常店舗の売場鮮度をアップするため、進行年度在庫についてもアウトレット店舗での販売を可能にするというアウトレット機能の見直しを行ったことに伴い、アウトレッ

ト販売用在庫の一部処分を決定いたしました。これら在庫処分損約 12 億円に加え、平成 26 年 12 月 17 日に発表したシンガポール事業撤退費用約 3 億円等を計上したものの、全社的な販売管理費の削減により、営業利益・経常利益は概ね前回予想通りの着地となる見込みです。

また、当期純利益につきましては、アダストリアアジアに関するのれんの減損損失（第 3 四半期に計上済み）3.73 億円に加え、保有土地の売却損等約 4 億円、ブランドの休止に伴う損失約 2 億円等を特別損失として計上したため、前回予想を下回ります。

持株会社アダストリアホールディングスの業績である個別業績につきましては、現段階で修正はいたしません。修正の必要が生じた際には速やかに公表いたします。

最後に、期末配当金につきましては、一株当たり 45 円（中間配当 30 円と併せて年間 75 円）の予想を据え置いております。これは当期純利益の下振れ要因がいずれもキャッシュアウトを伴わない損失で、キャッシュフローの見通しに変更はないためです。

（注）上記業績予想につきましては、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以 上